

電柱等を活用した「まちなか宅配ボックスサービス」の試行実施について

2020年10月19日

関西電力送配電株式会社
株式会社豊田自動織機
株式会社日本ネットワークサポート
京 都 府
精 華 町
関 西 電 力 株 式 会 社

関西電力送配電株式会社（以下、関西送配電）、株式会社豊田自動織機（以下、豊田自動織機）、株式会社日本ネットワークサポート（以下、日本ネットワークサポート）、京都府、精華町、関西電力株式会社（以下、関西電力）は、電柱等を活用した「まちなか宅配ボックスサービス」の試行を、本日から2021年1月31日まで実施します。

「まちなか宅配ボックス」とは、住宅地内の電柱等に設置した、いつでも誰でも利用できる共用型の宅配ボックスで、地域にお住まいの皆さまの生活エリアにて宅配荷物の受取りが可能になります。

近年、物流業界では、e コマース^{※1}の進展による宅配荷物の増加や人手不足が深刻化しており、さらには新型コロナウイルス感染症の影響により、非接触での荷物の受け渡しに対する需要が高まっています。これら課題に対する解決策の一つとして、誰もが自由に荷物を受け取ることができる共用型の宅配ボックスが注目されています。

本試行は、国土交通省により、スマートシティモデル事業の先行モデルプロジェクトとして選定された、「スマートけいはんなプロジェクト」の一環として行うもので、関西送配電が主体となり、豊田自動織機、日本ネットワークサポート、京都府、精華町、関西電力と連携し、ヤマト運輸株式会社、日本郵便株式会社、西濃運輸株式会社のご協力の下で実施するものです。

具体的には、京都府精華町精華台1丁目および2丁目内において、関西送配電が保有している敷地内や民有地内に設置されている電柱等に、豊田自動織機が開発した宅配ボックスを、日本ネットワークサポート製の専用器具を用いて設置し、当該住宅地にお住まいの皆さまにご利用いただくことで、地域の皆さまの生活利便性の向上をめざすとともに、スマートなまちづくりのための知見やデータを収集します。

本試行を通じて、宅配荷物の再配達回数削減による環境負荷の低減、および地域社会の発展に貢献し、サステナブルコミュニティ^{※2}の実現に取り組んでまいります。

以 上

※1：インターネット上での売買や決済、サービスの契約などを行う「電子商取引」

※2：さまざまな分野での地域課題が解決された持続可能な街

添付資料：電柱等を活用した「まちなか宅配ボックスサービス」の試行実施の概要